

資料提供	
令和5年7月28日	
担当課 (担当者)	鳥取県感染症対策センター (杵岐、加賀田)
電話	0857-26-7153、7770

新型コロナウイルス感染症患者数（令和5年第29週：詳報）

このことについて、県内の定点医療機関から報告された患者数は次のとおりです。

<集計期間：令和5年第29週（令和5年7月17日（月）～23日（日））>

【地区別】

地区	東部	中部	西部	合計	全国(第29週)
定点数	12	6	11	29	—
患者数	192人	157人	230人	579人	—
定点当たり患者数	16.00人	26.17人	20.91人	19.97人	13.91人
前週比(倍)	1.81倍	2.21倍	1.20倍	1.57倍	—
流行情報	●注意	●警戒	●警戒		

<参考>

- ・定点当たり患者数とは、1週間に新型コロナウイルス感染症と診断された1定点医療機関あたりの患者数。
- ・定点医療機関の内訳は、小児科定点：19医療機関及び内科定点：10医療機関

<流行情報の解説>

現在の感染状況が、第8波と比較してどの程度のレベルかを地区ごとにお知らせするもの。

- 注意レベル： 定点当たり10人/週（今後の感染拡大に注意が必要と考えられる段階）
 - 警戒レベル： 定点当たり20人/週（感染者数の加速度的な増大のおそれがある段階）
- ※いずれも、定点当たり10人/週を下回れば解除。

【年齢別の患者数】

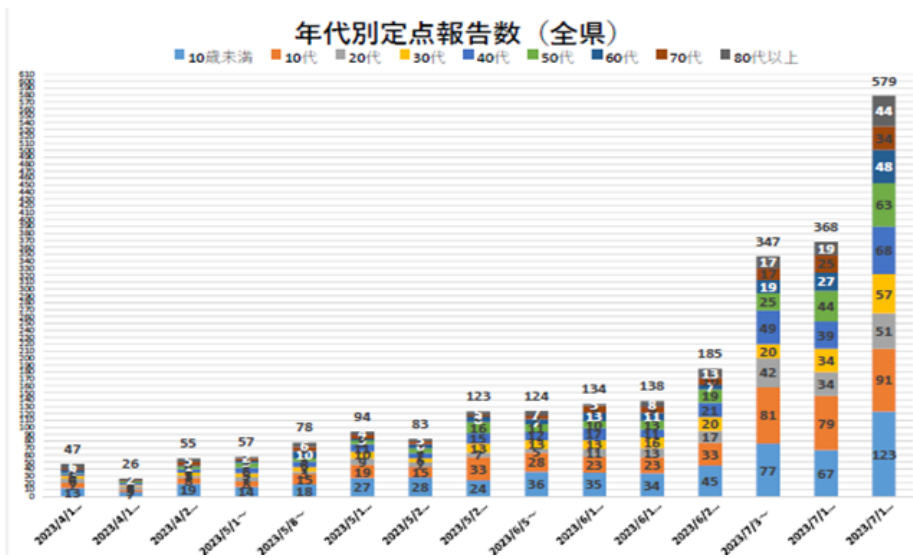
(人)

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	計
29週	123	91	51	57	68	63	48	34	44	579
	21.2%	15.7%	8.8%	9.8%	11.7%	10.9%	8.3%	5.8%	7.6%	100.0%
前週	67	79	34	34	39	44	27	25	19	368
	18.2%	21.5%	9.2%	9.2%	10.6%	12.0%	7.3%	6.8%	5.2%	100.0%

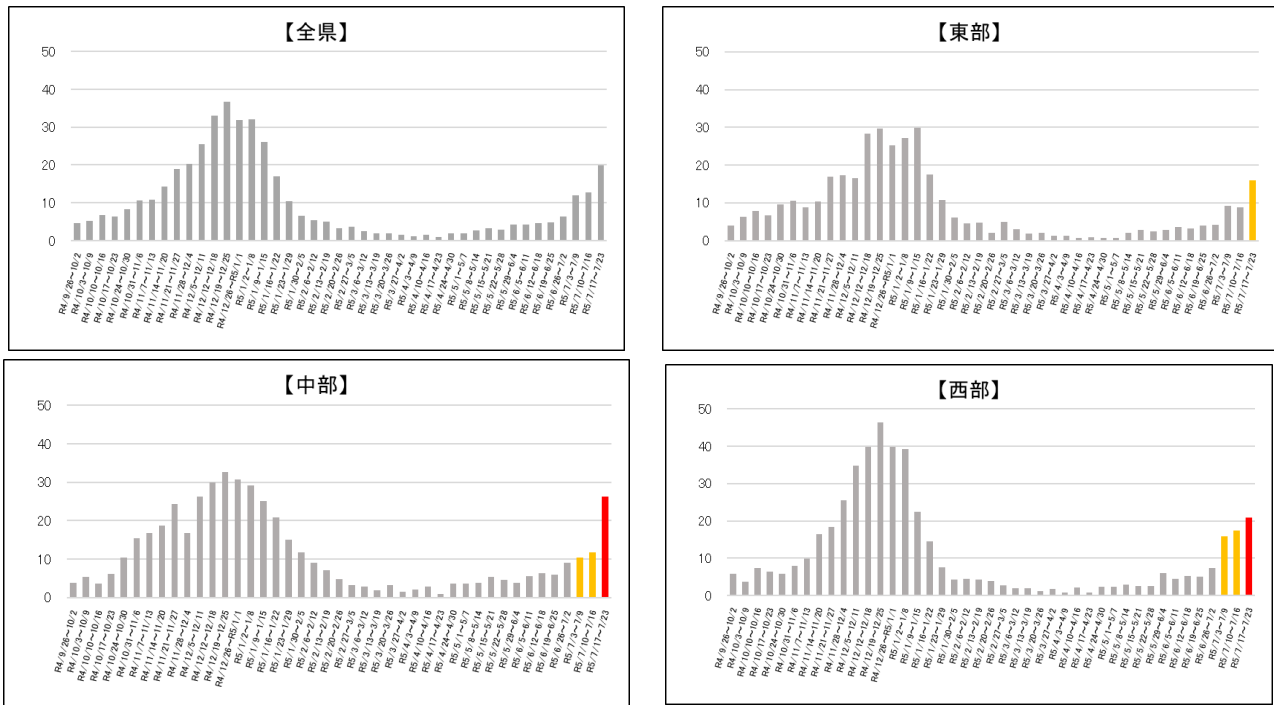
<感染動向等に係る県感染症対策センターコメント>

- 第27週から県内の感染者数の急増傾向が続いており、中部・西部地区では、定点当たりの患者数が20人を超え、流行情報は「警戒レベル」に到達。東部地区においても、「注意レベル」に到達し、全県で感染者数の加速度的な増大のおそれがある。
- 高齢者福祉施設、医療機関等における集団感染が頻発しており、重症化リスクの高い方への感染拡大や医療提供体制への影響に注意が必要。
- 全ての年代で患者が増加しており、特に80歳以上の方を含め60代以上の割合が増加。
(県民の皆様へ)
- 夏休みが始まり、帰省や大人数で集まる機会が増えますが、手指消毒、換気の徹底、場面に応じたマスク着用といった感染防止を心がけ、特に高齢者と接する場合などは、体調を整えるようにしましょう。
- 流行期には、重症化リスクの高い方は、近接した会話や混雑した場所を避けることが有効です。
- 発熱や風邪症状など感染の不安があり受診される場合は、医療機関へ事前に電話連絡の上、受診しましょう。また、重症化リスクの高い方や他の重篤な疾患の診療に影響が及ばないよう、救急外来を含め医療機関の適正受診をお願いします。
- 陽性が判明した場合は、無理せず自宅で安静に過ごし、周囲にうつさない配慮をお願いします。

【図1】年代別定点報告数



【図2】定点当たり患者数の推移



注) 令和5年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数

【図3】感染拡大レベル

